



位置・地勢

百石町は青森県上北郡の東南部(北緯40°35'31" 東経141°25'45")に位置し、東は太平洋に面し、西は下田町、北は三沢市に接する面積21.44km²の狭小の町です。地形はほぼ台形状をなしています。一般に平坦で南に低く、北はやや小高い丘状をなしており、南端部には八戸市との境界となる十和田湖を源とする奥入瀬川が東流、太平洋に注いでいます。南部の低地帯はこの奥入瀬川の水利を得て水田が早くから開け、北部の丘陵地帯は主に畑地として利用されています。地質は農用地のほとんどが火山灰の黒ボク土壌で、奥入瀬川沿いは水成堆積物からなっています。また、町の中心街を国道45号、中心部から南北に国道338号が縦貫しており、更に百石工業地帯を通過する主要地方道八戸百石線があり、交通の便に恵まれています。

ももいしマップ

(平成12年4月発行「ももいしガイドブック」より)





町章

(昭和39年9月制定)

町制施行35周年を記念し全国に公募して制定。意匠は、「モモイシ」の「モ」を図案化したもので、上部は、町の由緒ある根岸の「いちよう」の葉を配し、葉の両端は町の無限の発展、飛躍を表現し、下部の円は町民の「和」と固い「団結」を象徴している。

町民のちかい

(昭和44年4月20日制定)

わたくしたちは、溪流奥入瀬の水でよく野を拓き、大銀杏に象徴される百石町民であることに誇りを持ち、ここに「五つの誓」をかけて日々実践し、よりよい郷土を築くことに努めます。

- 一、心をあわせ、元気に働き、豊かな町をつくりましょう。
- 一、心をあわせ、明日の力を育てましょう。
- 一、心をあわせ、安全で、住みよい町をつくりましょう。
- 一、心をあわせ、美しい町をつくりましょう。
- 一、心をあわせ、明るく、楽しい家庭をつくりましょう。

イメージキャラクター

「ももちゃん」

(平成3年5月制定)

自由の女神像をモデルとしてイメージキャラクターが誕生。あどけない表情の女神と町が誇る大いちょうの葉を組み合わせ、古い歴史と国際時代に飛躍する町の可能性を象徴している。名前は一般公募し「ももちゃん」に決定。

町の花「うめ」



梅は、寒梅といわれるごとく厳寒に耐え、かれんな花を咲かせ、小鳥を呼び、その調和のとれたやさしさとその香りはけだかく、ここに住む人の心を表わしています。また、学びの祖といわれ、こよなく梅を愛した菅原道真の故事にならい「和」をもって「教育の町」を目指す我が町にふさわしい花である。

町の木「いちよう」



これは、樹齢千二百年以上ともいわれる根岸のいちようで象徴されるように、自然の風、雪に耐え、今日まで我が町の発展とその導きの樹として町民のよりどころとなり、町民のちかいにもあるように永遠の象徴である。

町の鳥「かもめ」



我が町は、雄大な大海原太平洋を幸の場として町を興し栄えた歴史的背景と、この大海原の激浪に群をなし、海の幸をまねぎ、飛びかう鳥「かもめ」のやさしくも勇敢な姿は、我が町が未来に向けて豊かに躍進するその姿にて、ゆかりの深い鳥である。

町の花・木・鳥

(昭和54年5月31日制定)

